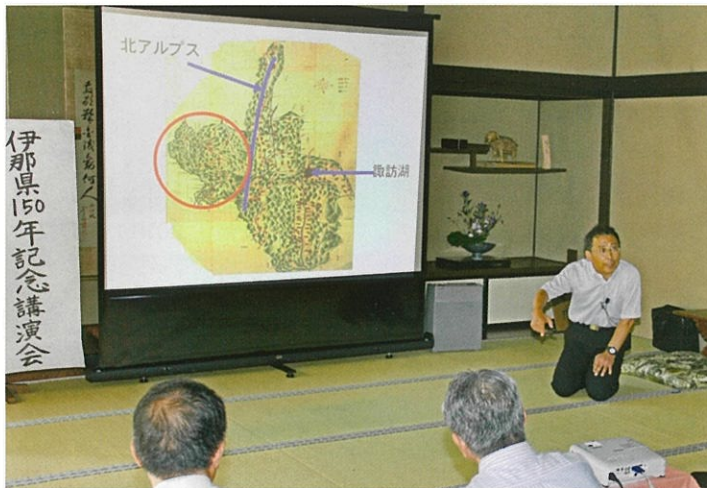


伊那県150年記念関連イベント

①伊那県150年記念講演会開催!



伊那県は、1868(慶応4)年8月2日(旧暦)に、旧幕府の飯島陣屋跡を県庁として成立しました。これを新暦に直すと9月17日となります。この史実に基づき、150年後の2018(平成30)年9月17日に、飯島町歴史民俗資料館・飯島陣屋で「伊那県150年記念講演会」を開催しました。講師には、前長野県立歴史館学芸部長の青木隆幸先生をお招きしました。

青木先生は「伊那県から考える『西郷どん』の時代」と題して講演をしてくださいました。先生は冒頭、人間の赤ちゃんを例に「振り返る仕草の中に人間の尊厳がある」としていました。また、新政府に背き贖二分金を等価交換した事例を挙げ、伊那県は御一新実現の場と考えており、民衆を救うにはどうしたらよいかを考えていた人々がこの飯島の地にいた、ということをお話して下さいました。その上で、「飯島町のことは、飯島町の景色の中で語り継いでいくことが大事である」とおっしゃっていました。

当日は、町内外から置いっぱい50人以上の方が飯島陣屋を訪れ、青木先生の熱い講演を、熱心に聴講されていました。伊那県が誕生したまさにこの場所で、伊那県の歴史について学んでいる様子でした。

また部屋の一角には、伊那県に関する史料や、伊那県ウォークの写真などを展示しました。贖二分金なども展示し、来館された皆さんは興味深そうに見学されていました。



展示の様子

②信州いいじま伊那県ウォーク、完結!

2017年5月20日から始まった「信州いいじま伊那県ウォーク」が、2018年7月28日に最終回を迎えました。京都御所から伊那県庁跡(飯島町歴史民俗資料館・飯島陣屋)までの約285kmの道のりを、2年間かけて歩きました。日差しの強い日や雨が降る寒い日など、決して恵まれた気候ばかりではありませんでしたが、後方で支援して下さったスタッフ含め総勢約60名で完歩しました。多くの皆様のご支援ご協力、ありがとうございました!



京都から飯島までの約285kmを完歩しました!
ありがとうございました!



飯島町歴史民俗資料館でのプチ話題をお届けします!

③五平餅づくり体験が大人気!

近年、イベント以外の五平餅づくり体験の申し込みが多くなってきており、毎年たくさんの方に体験をしていただいています。かまどを使って昔ながらの方法でご飯を炊き、少し焦げても自分たちで作った五平餅はやはり絶品。火起こしも自分、竹串も自分で作ります。ぜひ一度、体験してみたいかがでしょうか?体験希望の方は、飯島陣屋までお気軽にお問い合わせください。



れきみんかん7千とぴくす

①閲覧用の町誌を置きました。

教育委員会(役場西庁舎)のエントランスと飯島町文化館へ、閲覧用の『飯島町誌』(上・中・下巻)を置きました。これでふとした時に気軽に手に取り、飯島町について調べることができます。



②藤の花がきれいです。

飯島陣屋の藤の花は毎年、飯島陣屋友の会の皆さんによる手入れのおかげで、大きな花が咲くようになりました。5月初旬頃に見ごろを迎えますので、ぜひ足をお運びください。



飯島陣屋だより

No.19
2020

発行/飯島町歴史民俗資料館 〒399-3702 長野県上伊那郡飯島町飯島 2309-1 TEL 0265-86-4212 FAX 0265-86-5596

平成から令和へ 飯島陣屋のイベント 6連発!



H30.05.05

飯島陣屋こどもの日!

毎年5月5日は「飯島陣屋こどもの日!」と銘打ち、終日子ども料金を無料としています。また五平餅づくり体験も同時開催しています。令和元年になって最初のこどもの日にはご家族で訪れる方が多く、大盛況の1日でした。この日来館していただいたお子様には、飯島陣屋友の会職員が手作りした、折り紙のこいのぼりもプレゼントされました。



R1.05.05

伊那県150年を記念しておはぎを作ろう! 菊の花が咲く飯島陣屋で体験しよう!



H30.09.17

近年、秋に体験イベントを開催しています。平成30年9月17日には、飯島陣屋友の会主催でおはぎ作り体験が行われました。令和元年10月20日には、おはぎ作り体験だけでなくあかりの体験、ナイトミュージアムやクイズラリーなど、菊の花が咲く飯島陣屋で盛りだくさんのイベントを開催しました。どちらのイベントも終日天候に恵まれ、多くの方が飯島陣屋に立ち寄ってくださいました。

菊の花は、まちの駅より配布されています!



R1.10.20

まゆ玉&書初め羽子板づくり



H31.01.12

毎年小正月の時期(1/15)に、まゆ玉づくりと書初めのイベントを開催しています。平成31年は「まゆ玉&書初め羽子板づくり」、令和2年は「まゆ玉&書初め表札づくり」を行いました。また、まちの駅に携わる皆様のご協力により、餅つきや餅花づくりなども行われ、多くの体験ができる1日となりました。イベントの最後には、恒例となった大迫力の書道パフォーマンスが行われ、堀越寿嵩先生に今年の一文字を書いていただきました。

まゆ玉&書初め表札づくり



R2.01.11

飯島町生涯学習センターとの連携

飯島町歴史民俗資料館と飯島町生涯学習センターの活動連携についてご紹介します。

ことぶき学級

2018年10月1日、飯島町生涯学習センター講座のうちの1つ、「ことぶき学級」で、参加者の皆さんが飯島町歴史民俗資料館・飯島陣屋を訪れました。囲炉裏を囲んでお茶を飲み、昔話を花を咲かせました。また飯島陣屋の見学や、あかりの体験も行い、飯島陣屋があった頃のことから伊那県の誕生など、飯島町の歴史に触れていきました。



いいちゃん名所めぐり散歩

飯島町図書館で貸し出されている、「いいちゃん名所めぐり双六」には、町内48ヶ所の名所が紹介されており、そのいくつかをめぐる講座です。町内の文化財や史跡に気軽に親んでもらえるよう、指定文化財以外の名所もめぐっています。その中に飯島陣屋も含まれており、2016年度に開講して以来、この講座でも2回、飯島陣屋を訪れ、見学しました。

参加者の皆さんは、飯島町には飯島陣屋だけでなく他にももっと様々な文化財や名所があることに驚きつつも、受講生同士楽しく名所をめぐっている様子でした。

中はどうなっているのかな？

参加者の声（一部抜粋）

- 代官役がカツラをつけ袴を着て、お女中が振袖を着て座ったところなど、まあ昔はこの様な状態だったのかなと想像できてとても楽しかったです。
- こんな近くにある歴史ある資料館で、飯島陣屋と3年4ヶ月という短期の伊那県庁の事を知り、少し歴史を知ることができました。また、囲炉裏を囲んで干しいもと栗の焼いた味も昭和の我が家の暮らしを思い起こす一時でした。
- 行燈、灯明の電気なんかいない時代の人々の暮らしぶりの実演を交えての説明に興味を持って聞き入り、驚いたり頷いたり連続で非常に楽しい見学の時間でした。代官部屋の21畳の畳が平行に7列×3列でシンプルなのは感心しました。
- 囲炉裏端の有無を知っている人、知らない人半々くらいで今年のことぶき学級生が境目なのだと改めて自分たちの年齢を見直しました。
- 明治4年まで県庁が飯島陣屋に存在していたこと、伊那県となり陣屋が県庁として政治体制を三河まで広めたこと、大きな力に頭が下がりました。
- 昔さんざん体験したカギ筒のコイをピカピカになるように、布で毎朝拭いたことを思い出しました。
- 昔の明かりがこんなに暗かったのかと改めて知り、今の暮らしの便利さに感謝の気持ちを持ちました。蔵の中にあつた昔の物もみんな捨ててしまい、ちょっと損したのかなと思いました。
- 若かりし頃、懐かしい時間、親の心がタイムスリップ、いろいろ思い出しました。
- 県庁のお話をいろいろお聞きして、大変なことがあつて今に至っているのだなあと思いました。
- 自分たちの育ったころの道具や暮らしがそこにはあり、とても懐かしかった。囲炉裏を囲んでワタシで味噌むすびやおやきなどを焼いて食べた昔がよみがえった。
- 人間は与えられた環境の中で順応し徐々に改善されていく中で生活してきた。しかし現在の生活はどうであろう。電気が通じ始めて以来、世の中は急速に発展し、環境はあまりに急伸！もっともっとゆっくりとした生活変化の速度が欲しい気がします。しかし便利の方が良い。
- 冬なんか濡れた地下足袋や凍った地下足袋を火で乾かし温めてはいて仕事に出かけたものでした。

【原文のまま掲載しています】

過去の講座の様子から



文化財保護強調週間のできごと

11/3(文化の日)周辺で行われるイベントについてご紹介します。

陣嶺館は秋に特別無料開館をしています

11月3日(文化の日)を中心とした1週間は、文化財保護強調週間です。毎年この時期に、飯島町陣嶺館では秋の特別開館を行っています(通常は予約により開館)。2018年(11/4~6)は、町内で発見された中世の和鏡の展示や、ギャラリートークも行われました。

2019年には、長野県立歴史館(千曲市)で、開館25周年記念特別企画「土偶展」が開催され、その後期展「中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神～」(会期2019/11/23~2020/2/2)に、飯島町教育委員会所蔵の土偶(尾越遺跡出土)が貸し出され、展示されました。その関係から、2019年の陣嶺館特別開館(11/3~5)では、町内で出土した土偶の一部の特別展示を行い、多くの皆様にご来館いただきました。

飯島町教育委員会所蔵
尾越遺跡 土偶



2018.11.4の様子



2019.11.5の様子

文化の秋を体で感じる - 町内文化財めぐり(七久保地区) -

文化財保護強調週間に合わせ、毎年11月3日頃に「町内文化財めぐり」を行っています(2019年は12/1開催)。2018年は山祇神社や高遠原駅、2019年は千人塚周辺や大宮七窪神社、遠見石などを見学しました。参加者の皆さんは、町内の文化財を肌で感じているようでした。



2018.11.3の様子



2019.12.1の様子

学校との連携

飯島町歴史民俗資料館と学校の活動連携についてご紹介します。

昔の道具と暮らしとあかりの体験と豆まき…とお餅

陣嶺館では、旧石器時代の石器や縄文時代の土器から、昭和の民具まで様々な資料が展示されています。間近で見ること、当時の生活の学習を深めることができ、毎年多くの皆さんが来館してくださっています。

飯島陣屋では、150年前の暮らしやあかりの体験ができます。建物の外観をよく観察したあと、囲炉裏周辺の道具を観察、火起こし体験だってできます。その後は別の部屋に移動して、雨戸を開けて部屋を真っ暗に！あかり体験の始まりです。ろうそくやあんどん、ちょうちんやがんどうなどを使って昔のあかりでの生活を体験します。その他にも、代官になったり駕籠に乗ったり担いだり…いろんな体験や見学をしたあとは、囲炉裏で焼いたお餅をいただくこともできます。一度食べたらやめられない、絶品です。また節分の時期は豆まきもできますので、自分たちで育てた大豆で体験してみたいかでしょうか？

総合学習で「陣屋に泊まる」

2019年11月1日~2日にかけて、七久保小4学年(担任:池田暁子先生)のみなさんが、総合学習の一環として、飯島陣屋で宿泊体験を行いました。

1日の午後、JR飯島駅から駕籠に乗って担いで飯島陣屋まで歩き、その後活動を行いました。活動は、竹を使った食器作りと、自分たちで火をおこしてのカレー作りをしました。夕飯後は、囲炉裏でこわ〜いお話を聞き、就寝。翌日は魚を自分たちでさばき、囲炉裏で焼いて食べました。クラスみんなで協力して昔の生活を体験したことで、より一層絆を深めたようでした。



昔の明るさはどのくらい？



力いっぱい豆をまきます！



魚をさばいて焼きました。